



令和3年度第1回 鹿部町「対話ミーティング」

令和3年7月15日(木)・20日(火)18時00分～ 中央公民館

■はじめに…「対話ミーティング」とは

町民皆さまとの
意見交換

どのような事業なの？

こんなことしてほしい！

どうすればいいの？

ご要望

ご意見

ご質問



町民皆さまによる
“まちづくり”へ

■本日説明する内容

●令和2年度事業の実施報告について

企画振興課	●新型コロナウイルス感染症対策事業
総務・防災課	●鹿部町役場新庁舎建設事業
保健福祉課	●鹿部町子育て世代包括支援センター事業
水産経済課	●ウニ畜養試験事業 ●鹿部町地域就労サポートセンター事業
食と観光推進室	●山村活性化対策事業

●令和3年度事業の概要について

防災・デジタル推進室	●鹿部町デジタルファースト宣言
企画振興課	●第6次鹿部町総合計画 ●鹿部町地域公共交通(デマンド運行)について
保健福祉課 ほか	●各種保険税等の改正について
保健福祉課	●鹿部町地域活動支援センター「ぽっぽ」利用促進事業
水産経済課	●鹿部町地域就労サポートセンター 鹿部町雇用・労働支援事業 ●鹿部町産業振興基本条例 ●鹿部町起業・創業支援事業 ●A級グルメ構想の推進
建設水道課	●鹿部町水道認可変更事業

■ 令和2年度事業の 実施報告について

■新型コロナウイルス感染症対策事業

新型コロナウイルスの感染症の拡大防止と地域経済や住民生活を支援するために国が創設した臨時交付金を活用して、町民の生活を守り経済を立て直していくため実施

◆事業費：298,489千円 ◆財源内訳：289,397千円(臨時交付金)、9,092千円(一般財源)

経済対策



- 事業者等緊急支援事業 42,222千円
(漁業者、中小企業、医療機関・介護サービス関係事業者、交通事業者への支援金)
- 水産業等へ支援事業 41,750千円
(事業継続補助金、種苗購入支援、カキ養殖試験事業、水産業人材育成支援)
- プレミアム商品券販売事業 13,955千円

感染予防



- 教育支援事業 35,057千円
(オンライン学習環境整備、図書除菌備品購入、自動手洗器及び給湯整備など)
- 公共施設整備事業 50,071千円
(役場庁舎、各公共施設の感染予防、避難所備品購入、消防用感染備品購入など)
- コミュニティバス運行委託事業 2,772千円
- インフルエンザ予防接種助成事業 1,294千円

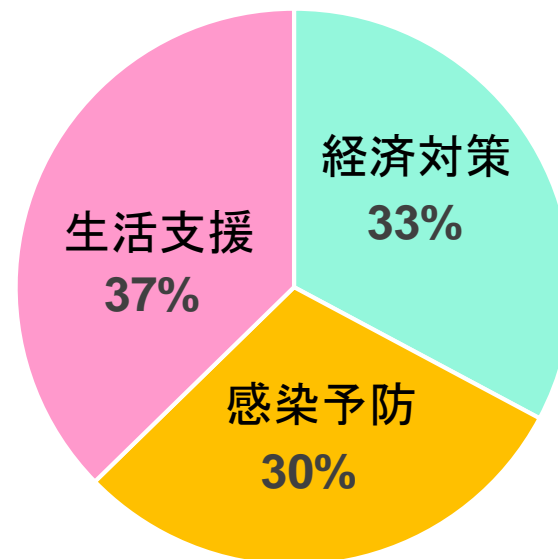
生活支援



- 商品券配付事業 51,614千円
- しかべ応援券配付事業 40,160千円
- 水道料金減免事業 18,094千円
- 子育て世帯給付金事業 1,200千円
- ひとり親世帯給付金事業 300千円

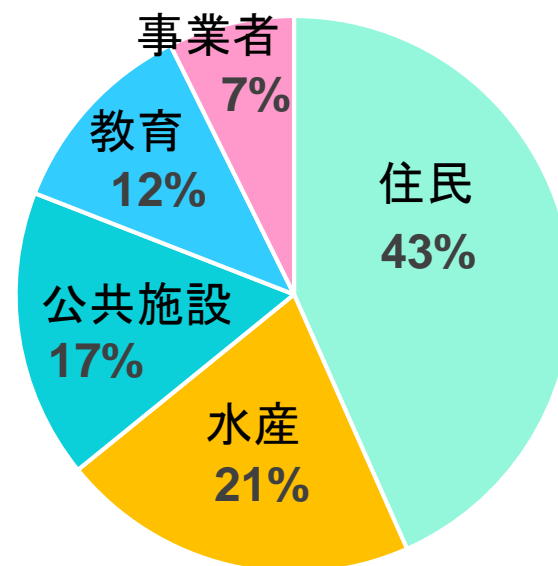
目的別割合

目的	金額(千円)
経済対策	97,927
感染予防	89,194
生活支援	111,368
総事業費	298,489



対象別割合

対象	金額(千円)
住民	129,389
水産	62,091
公共施設	50,070
教育	35,058
事業者	21,881
合計	298,489



■ 役場新庁舎建設事業

令和2年6月に着工した役場新庁舎が、令和3年3月に完成し、5月6日に開庁しました！

- ・ 工事費：1,490,876千円
- ・ 財源内訳：1,167,000千円(地方債)
315,285千円(基金)
8,591千円(一般財源)

～笑顔あふれ ひかり輝く 未来へつなぐ 新庁舎～



鹿部町子育て世代包括支援センター

妊娠・出産・子育てに関する様々な相談に応じ、安心して妊娠期から子育て期まで過ごせるよう、切れ目ない支援を提供

- ・ 事業費：239千円
- ・ 財源内訳：239千円(一般財源)

子育ての悩みを聞いてほしい

出産準備は何をすればいいの？

母子健康手帳を発行してほしい

子供が順調に成長しているか心配



支援

相談

鹿部町子育て世代包括支援センター

連携

相談を聞き、必要なサポートにつなぎます
医療機関・幼稚園・行政機関
児童相談所・民生委員 等

事業名	利用者
子育て相談事業	128人
産前・産後サポート事業	13人
産後ケア事業	0人
新生児聴覚検査費用助成事業	13人
お誕生祝い品贈呈事業 (しかべびーボックス贈呈事業)	13人



■ウニ畜養試験事業

- ・事業費：752,637円
- ・財源内訳：752,637円（一般財源）

漁業法の改正に伴い、たくさん獲ることから高く売ることへの変換を考える必要性が出てきたことから、品質向上の取組としてウニの畜養試験を実施し、事業化につなげる

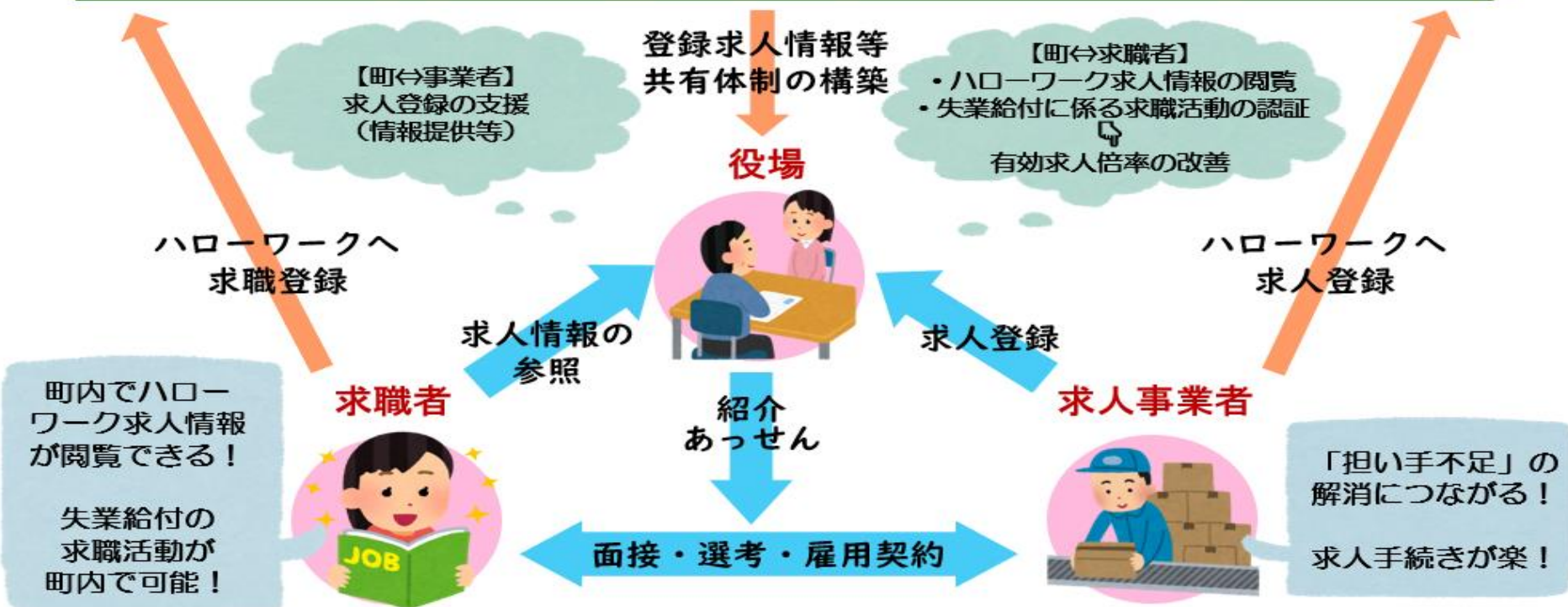


試験回数	1回目（潜水による採捕ウニ）	2回目（たもとり採取ウニ）
試験期間	R2.9.17～11.17	R2.11.17～12.25
内容	毎日、斃死 ^{へいし} 個体数、水温を確認し2週間に1回個体の重量と殻長を測定 給餌には配合飼料と昆布を使用し比較	1回目と同様
結果	<u>実入り率</u> 畜養当初10.8%⇒最終的に13.9% (15%以上で実入り ^{きゅうじ} がいいとされる) <u>給餌物による歩留^{ぶど}まりの差</u> ほぼなし 昆布を給餌させたものの方が、濃厚（深みのある）	・試験開始から1週間で半分以上の個体が斃死 ・12月25日には全個体が斃死 《斃死原因》 たもとり採取時にウニのとげが折れたことにより、ウニが弱ってしまったためと推測※水産指導所、栽培公社に確認

鹿部町地域就労サポートセンター事業

町内事業所の人材確保、町民の雇用機会の拡大及び町内への定住促進を図ることを目的に、無料職業紹介事業や求人情報の提供

北海道労働局・函館公共職業安定所(ハローワーク函館)



●人材マッチング実績 3件(福祉介護業、水産加工業、運送業)

●人材マッチング事業登録求人数(令和3年3月末)14件(正社員:6件、パート:7件、契約社員1件)

■山村活性化対策事業

・事業費：9,917千円
 ・財源内訳：9,917千円(交付金)

海の幸となる水産加工品の高付加価値化、火山性土壤に適した農産物としての山菜の半栽培化、これらを組み合わせた特産品や名物料理の開発に取り組む。また、料理専門家等を講師とした人材育成プログラムを実施し、人材の育成と新しい商品開発を並行して進めることにより、地域資源を活用した山村地域の所得や雇用の増大を図る。



干したらこの開発

- ①地域資源の賦存状況・利用形態等の調査
- ②地域資源を活用するための合意形成、組織づくり人材育成
- ③地域資源の消費拡大と販売促進、付加価値向上等を図る取組



タラの葉茶の商品化に向けた町民有志による苗等の栽培



鹿部の食を考える会の発足



スケソバーガー販売



ホタテ饅頭の開発

■令和3年度事業の 概要について

鹿部町デジタルファースト宣言

令和3年5月6日、鹿部町役場新庁舎開設に併せ「鹿部町デジタルファースト宣言」を行い、デジタル技術を活用した取り組みを推進



「住民サービス」のデジタルファースト

子育て、教育、福祉、防災など様々な分野における住民の利便性向上を目指します。

- ・行政手続のオンライン化、電子申請などの充実
- ・オープンデータ
- ・教育分野のICT化推進
- ・マイナンバーカードの普及・活用促進
- ・住民ニーズに合わせた情報発信



「行政運営」のデジタルファースト

的確で効率的な行政運営を行い、生産性の向上を目指します。

- ・Web会議、テレワークなど働き方改革の推進
- ・ペーパーレスの推進



「関係人口施策」のデジタルファースト

町外に向けた情報発信とマーケティングをより戦略的に展開し、地域経済の活性化を目指します。

- ・デジタルマーケティングの強化
- ・ふるさと納税の推進
- ・ターゲットに伝わる情報発信
- ・観光情報のデジタル化推進

第6次鹿部町総合計画

- ・事業費：4,163千円
- ・財源内訳：4,163千円（一般財源）

総合計画とは、将来的に鹿部町をどのような「まち」にしていくのか、そのためにどのように取り組むのかを総合的、体系的にまとめた行政運営の最上位の計画であり、「まちづくり」を進めていくための道しるべとなります。

令和5年3月までに、町民の皆様からご意見やご提案を伺い、共に取り組み策定します。

事業計画

第6次総合計画の策定に向け、第5次総合計画（計画期間H25年（2013年）～R4年（2022年））10年間の事業検証と第6次計画の事業の洗い出しなどの準備・検証・策定を令和3年度から令和4年度の2年間で策定します。

人口減少対策事業

R2からスタートしている第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略と第6次鹿部町総合計画との整合性を図り推進します。

令和3年度の 主な業務

- ・町民アンケート調査（全戸配布）
- ・第5次総合計画の検証
- ・トップインタビュー

路線バス鹿部駅線再編運行

- ・ 事業費 : 35,344千円
- ・ 財源内訳 : 7,500千円(国庫補助)
27,844千円(一般財源)

令和3年5月1日～路線バス鹿部駅線を再編
継続的に町民の生活交通を確保



モニターへの町PR動画投影、
光触媒コーティング、無料Wi-Fi搭載

主な再編内容

ルート	通学や町民ニーズに即した運行ルート(各施設に立ち寄るルート)
路線数	鹿部出張所発(時間帯により役場発・小学校発)～鹿部駅行7便 鹿部駅～鹿部出張所行(時間帯により役場行)8便
車両	小型バスを購入し、函館バス(株)に貸与(32人乗・座席17人・1ドア)
運賃	大人100円、小児50円、通学定期設定、免許返納者への助成

「しかバス」利用状況

5月 利用人数: 750人、1日平均24.1人

6月 利用人数: 1,138人、1日平均37.9人

令和3年5月16日～6月20日
北海道で緊急事態宣言
各施設の休館を実施

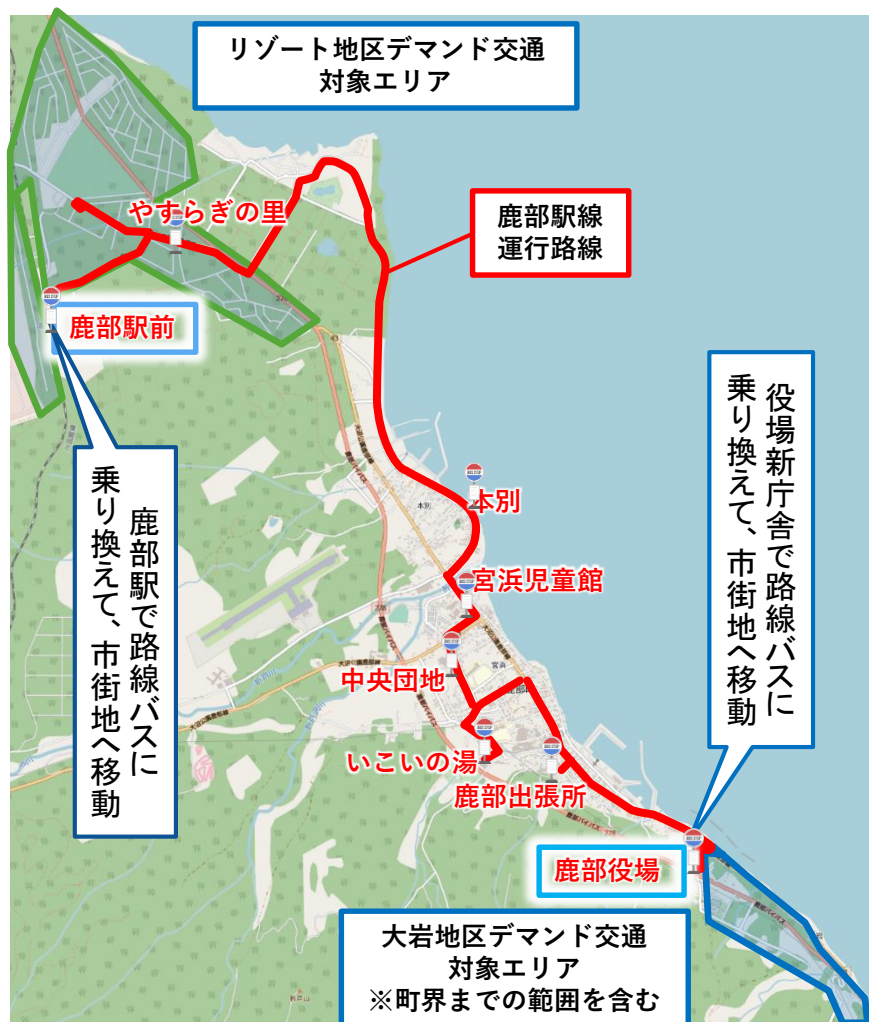
【従来の鹿部駅線利用人数】

令和2年5月 : 110人 1日平均 3.5人、6月 : 248人 1日平均 8.2人

令和元年5月 : 339人 1日平均10.9人、6月 : 488人 1日平均 16.2人

■ デマンド交通運行

鹿部リゾート地区・大岩地区と路線バス乗継ぎ地点をつなぐデマンド運行の実施
交通空白地域における交通弱者の移動手段を確保



【運行計画(案)概要】

◎運行方法

- ・事前予約(前日の営業日)により、自宅などから乗継拠点(鹿部駅・鹿部町役場)までの運行
※市街地へは路線バスに乗換を行って移動
- ・鹿部駅線の5~11便(計6本)に接続を検討
- ・火・水・土の週3日運行
- ・最大でリゾート地区10~30分、大岩地区5~10分程度の運行時間を想定※予約状況に応じて変動

◎両地区の運行形態

- ・車両1台(ハイエースクラス)を町で購入し、事業者へ委託し運行

◎運行開始時期

- ・令和3年10~令和4年2月の実証運行、令和4年4月の本格運行を目指して調整中
(年度費用約12,000千円)

国民健康保険税の税率改正

- ・本町の国民健康保険事業は、厳しい財政運営により過去に赤字会計が続いておりましたが、平成26年度に税率改正や一般会計からの繰り入れなどを実施し、平成28年度に累積赤字を解消しました。その後、安定的な財政運営が図られており、現在、黒字会計を維持しております。
- ・広域化後の安定的な財政状況を踏まえた保険税率の改正と北海道が目指している保険税水準の統一化を図るため、算出方法を見直しました。

	医療分	後期支援分	介護保険分
● 所得割 (国保加入者全員の前年中の所得)	× 8.34% (× 8.50%)	× 2.80% (× 3.00%)	× 2.07% (× 2.20%)
● 資産割 (国保加入者全員に課されている固定資産税額)	廃止 (× 44.00%)	廃止 (× 10.00%)	廃止 (× 10.20%)
● 均等割 (国保加入者一人あたりの金額)	34,500円 (30,000円)	9,600円 (9,000円)	10,800円 (10,000円)
● 平等割 (一世帯あたりの金額)	36,600円 (32,000円)	9,600円 (8,800円)	9,300円 (8,500円)

具
体
例

●2人世帯(夫婦)
所得100万円、固定3万円
・改正前：170,800円/年
・改正後：157,800円/年
(13,000円減額)

●2人世帯(夫婦)
所得100万円、固定なし
・改正前：151,600円/年
・改正後：157,800円/年
(6,200円増額)

●4人世帯(夫婦、子2人)
所得300万円、固定5万円
・改正前：609,300円/年
・改正後：592,800円/年
(16,500円減額)

■鹿部町の介護保険料基準額

●これまでの基準額について

	第1期 H12～H14	第2期 H15～H17	第3期 H18～H20	第4期 H21～H23	第5期 H24～H26	第6期 H27～H29	第7期 H30～R2	第8期 R3～R5
基準額	3,300円	3,500円	3,500円	3,500円	4,700円	4,800円	4,800円	5,500円

●主な要因について

	要因別の内容	第7期	第8期	差額	影響額
要因①	介護保険事業費 (給付費)の増加	1,075,302,165 円	1,249,976,974 円	174,674,809円	1,121円
要因②	第1号被保険者の 減少	4,265人	4,174人	▲91人	129円

介護保険料基準額 4,800円 → 5,500円 700円の増額となる

※介護給付費準備期金の取り崩しにより、増加を抑制して設定しています。

鹿部町地域活動支援センター 「ぽっぽ」利用促進事業

- ・ 事業費：9,274千円
- ・ 財源内訳：9,274千円（一般財源）

鹿部町地域活動支援センター「しかべ・ぽっぽ館」の利用促進と障がい者の働く場の充実を目的とする。

また、高齢者や子育て世代の交流の拠点となることを目指す。

「カフェぽっぽ」を「農カフェ」にリニューアル

- ・ 野菜を使ったスムージーやスイーツの販売
- ・ 地場産品（タラコやホタテ）を使ったおにぎりの販売
- ・ 野菜や米の販売



地域共生型社会の構築

障がい者や子ども、高齢者などすべての人々が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる社会の構築を目指す



鹿部町地域就労サポートセンター 鹿部町雇用・労働支援事業

- ・事業費：92千円
- ・財源内訳：92千円（一般財源）

町内の労働者や事業者を対象に、社会保険労働士（社労士）から個別相談や学びの場となる講演会を開催し、雇用や労働環境の整備を促進

講演会事業

- ・50人規模
1回2時間程度
- ・講師
社労士協会函館支部
から派遣された社労士
- ・内容
働き方改革の概要、雇用労働に関する助成金や支援事業の紹介 等

個別相談会事業

- ・1時間で6組
7月開催予定
- ・事前募集を行い、個別で社労士と相談
- ・相談内容
働き方改革、雇用労働に関する助成金や支援事業、労働環境 等

アンケート調査

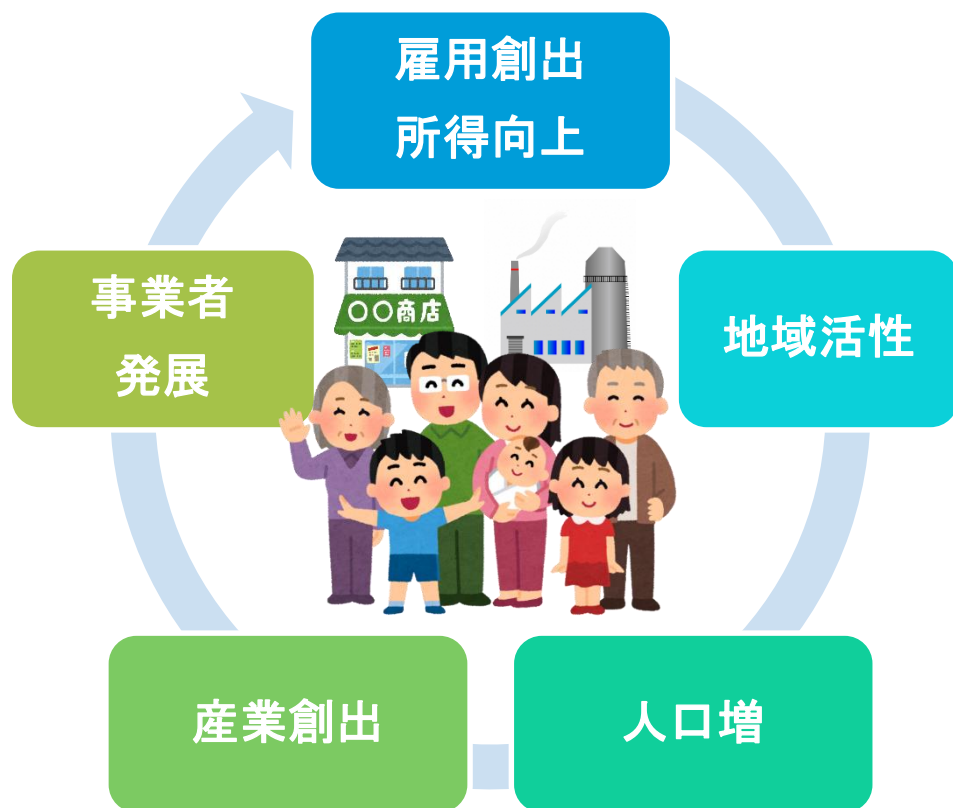
- ・商工会会員を対象にアンケート調査を実施
- ・会員事業者の雇用や労働に関する考え方等を調査



鹿部町産業振興基本条例

町民・事業者・関係団体・行政が連携協力して、町の産業基盤の強化と健全な発展を促進し、地域経済の発展と町民生活の向上に寄与することを目的とする理念条例

産業振興と地域活性化による好循環の実現



各主体の役割

事業者

- ・ 雇用環境整備と地域経済循環に努める

関係団体

- ・ 産業振興施策の協力を努める

町民

- ・ 制度理解と地域経済発展の協力を努める

行政

- ・ 受注機会確保と効率的な施策の実施に努める

鹿部町起業・創業支援事業

- ・事業費：4,000千円
- ・財源内訳：4,000千円（一般財源）

地域課題の解決、雇用創出等に資する事業を行う町内で起業・創業する者を対象に、支度金として町が支援金を支給することにより、起業・創業の件数増に伴う地域経済の活性化と雇用創出を図る。



●補助対象者

町内で起業又は創業に取り組み、自らクラウドファンディングを実施する者

●補助額

起業：1事業者あたり 100万円以内
創業：1事業者あたり 50万円以内

■A級グルメ構想の推進

- ・事業費：14,811千円
- ・財源内訳：4,811千円（一般財源）
10,000千円
（農村漁村進行交付金）

地域の誇りである『食』を通し、昨年策定の「産業連携ビジョン」に基づき、生産から消費までを繋ぐ地域循環型経済を目指し、漁業や水産業の付加価値向上を図り、生産者の所得向上、安定へと繋げる。

●山村活性化対策事業

- ・地域資源の消費拡大と販売促進、付加価値向上を図る取組み
「干しタラコ(仮称)」、「スケソバーガー」、「タラの芽茶」、「ホタテ饅頭」

●食による観光振興事業

- ・につぼんA級グルメのまち連合への参画
- ・オンライン料理教室の開催（町民及び近郊市町向けPR事業）
- ・A級グルメナイトの開催（近郊市町向けPR事業）
- ・につぼんA級グルメのまち連合PR試食会（町民向けPR事業）
- ・ロイヤルホテルとの連携事業（町民及び近郊市町向けPR事業）

鹿部町水道認可変更事業

- ・事業費：5,845千円
- ・財源内訳：5,845千円（一般財源）

水道事業の将来にわたる経営の健全化を確保することを目的に「上水道」から「簡易水道」へ移行。

…現在の水道事業における課題…

給水人口減少



少子高齢化等の要因による給水人口の減少に伴い給水量も減少する。

▶料金収入も減少することが予想される

人口規模に合わせた事業運営・赤字額の減少
⇒「簡易水道事業の補助金を活用」

管路の老朽化



有収率が低い（造った水道水が住民へ届けられる割合）
40年前に布設された管路が大半を占める。

▶漏水調査、管路更新、耐震化が必要

管路更新計画により、更新管路を決定
⇒「有収率の向上と老朽管」を更新

水源汚染



集中豪雨による取水量の運転調整（年に数回発生）
塩素消毒で死滅しない感染性生物による汚染の可能性

▶いつでも安定した供給のための対策が必要

「原水調整池の紫外線処理設備の導入」により、
原水水質の改善及び安定共有

…簡易水道のポイント…

「水道料金」は変わりません

「上水道」と「簡易水道」の違いは？
—上水道—

- ・給水人口が5,001人以上

—簡易水道—

- ・給水人口が101人以上5,000人以下

「簡易水道」になり何が変わるのか？

- ・水道施設や設備に変更はありません。
- ・「簡易水道」に移行することで、国からの補助金等により財源を確保し、経営の健全化を確保することが出来ます。

■意見交換・質疑応答

- 令和2年度事業報告について
- 令和3年度事業について
- 町の政策全体について
- 確認したいこと

など

ご意見・ご質問は
ございますか？





令和3年度第1回 鹿部町「対話ミーティング」

ご来場いただきありがとうございました

